

「TWX-21 Web-EDI Globalサービス」が機能強化 より幅広い取引形態への対応を実現

グローバルな電子商取引を支援するクラウドサービスとして世界約30か国約4,000社への導入実績を誇る「TWX-21 Web-EDI Globalサービス」(以下、Web-EDI Global)が、見積もり作成機能の強化と案件進捗管理機能の追加により、さらに使いやすく進化しました。お客さまの業務内容に合わせて機能やメニューも柔軟にカスタマイズでき、EC業務の標準化、可視化、効率化をサポートします。

【ユースケース】見積もり作成機能の強化で複数部門にまたがる購買管理を可視化

見積もり作成機能が強化されたことで、バイヤー企業の資材(購買・調達)部門だけでなく、発注依頼部門や設計部門もWeb-EDI Globalの画面上で購買依頼確認、見積もり依頼、内示依頼(作業着手依頼)が行えるようになりました。なお、従来どおり社内システムで作成した見積もりデータもWeb-EDI Globalとの連携が可能です。

この機能により、調達品ごとにサプライヤーを選定し、見積もり・仕様確認・内示・発注など煩雑なプロセスとワークフローが必要となる大型のカスタム品製造(プラント、鉄道、造船など)の現場でも、各部門と柔軟に連携。購買管理業務の可視化、効率化、ペーパーレス化が容易になりました。

お客さまニーズに対応したユースケース(図1)では、Webを通じたサプライヤーとのタイムリーな

情報共有で、資材部門の対応工数や通信・紙コストなどの削減に加え、調達品のリードタイム短縮をトータルに支援。属人化しがちな業務を低コストで標準化の実現に貢献しました。

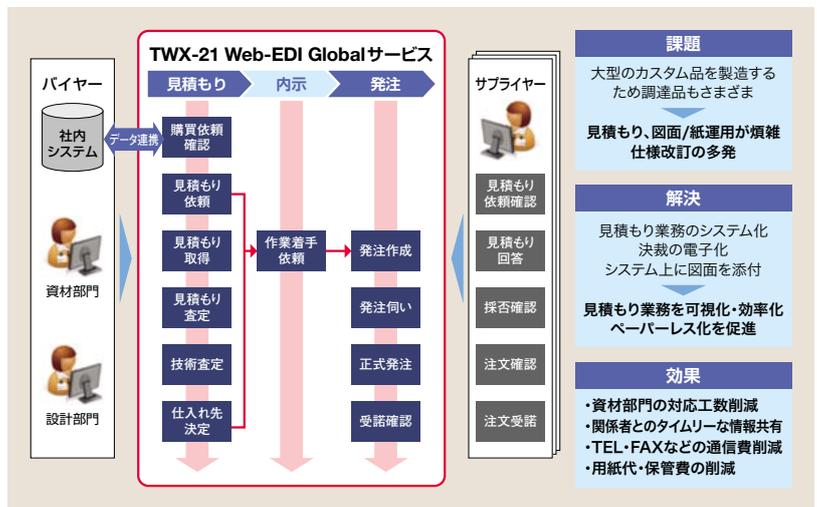


図1 カスタム品の製造における購買管理

【ユースケース】案件進捗管理機能で納期遅延をリアルタイムに把握

グローバルな取引における輸出入業務では、調達に関わる関係者が多様化し、サプライチェーンが地理的にも大きく広がるため、貨物の納期遅延リスクの増大を招くケースが少なくありません。こうした課題を解決するため、Web-EDI Globalでは、新たに案件進捗管理機能の提供を開始しました。

この機能は、これまでバイヤー/サプライヤー/海貨業者などの関係者間で、個別にやりとりされた受発注・納期回答などの情報を、注文から納入状況まで関連づけてWeb上で関係者全員が閲覧できるよう1画面に集約(図2)。さまざまな案件進捗状況を可視化し、納期遅延にかかわる異常なデータを発見した場合には自動的にアラート通知を行います。また分納などが発生した際

も、出荷残数や納期変更が早期に確認できるため、業務管理工数を減らしつつ納期遅延の削減に貢献します。

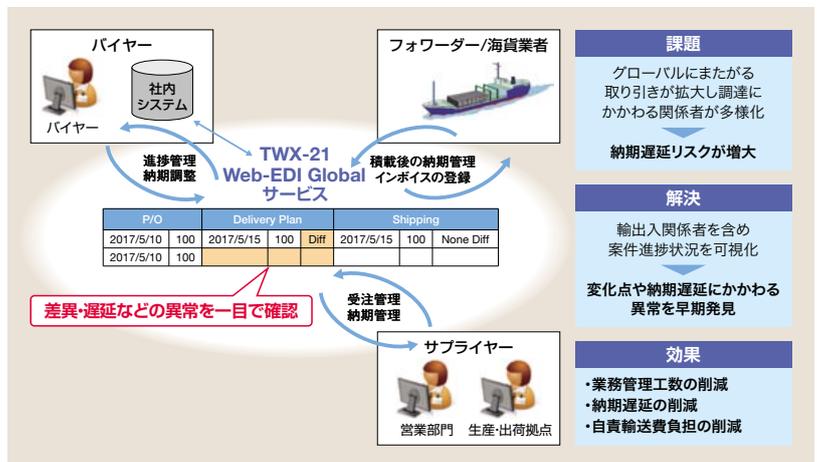


図2 輸出入業務における案件進捗管理

お問い合わせ先

(株)日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部
<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/contents/inquiry/>

■ 情報提供サイト
<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>